経営比較分析表

③流動比率(%)

該当数値なし

「支払能力」

⑦施設利用率(%)

H24

71.06

54. 74

「施設の効率性」

H25

71.06

53. 78

H24

岐阜県 本巣市

80 00

70.00

60 00

50.00

40.00

30 00

20.00

10 00

0.00

当該値

平均值

60.00

50.00

20.00

10.00

0.00

当該値

平均値

51.32

43. 24

①収益的収支比率(%)

「単年度の収支」

⑤経費回収率(%)

H24

47.64

51.03

「料金水準の適切性」

H25

53.40

50.90

77. 01

[51. 49**]**

H26

53.88

50.82

77. 53

H23

52. 12

51.56

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円
_	該当数値なし	46.53	100.00	3.996

当該値

平均値

400.00

350.00

300.00

250.00

200.00

150 00

100.00

50.00

0.00

当該値

平均値

H22

255. 83

338. 76

H23

251.84

283. 26

②累積欠損金比率(%)

該当数値なし

H24

「累積欠損」

⑥汚水処理原価(円)

H24

219.96

289.60

「費用の効率性」

H25

255.38

293. 27

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)	
35, 405	374. 65	94. 50	
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)	
16, 395	10.00	1, 639. 50	

1.400.00

1, 200, 00

1, 000. 00

800.00

600.00

400.00

200.00

0.00

0.00

平均値 1,316.70

0. 00

1, 239. 20

H23

52.83

83. 73

当該値

80.00

70 00

60.00

50 00

40.00

30.00

20.00

0 00

当該値

平均值

H22

52. 51

[53. 32]

H26

70.83

53. 24

④企業債残高対事業規模比率(%)

0. 00

1, 197, 82

「債務残高」

⑧水洗化率(%)

H24

52.02

83.88

「使用料対象の捕捉」

H25

56.34

84. 06

0.00

1, 126. 77 1, 044. 80

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
 - 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

[992.47]

0.00

[83.79]

H26

57.11

類似団体との比較では、経費を使用料にて回収す る率は同等以上ではありますが、5割程度であって その他を一般会計が負担している状況があります。 汚水処理にかかる原価については他団体と比べ低

施設が比較的新しく、使用できる期間が十分にあ るため、老朽の問題は特にはありませんが、将来的

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業においては、規模が大きくはな いため収益は多くは見込まれず、平成26年度には 収益的収支の低下がみられ、借入金に対する償還金 の増加により一般会計の負担が高くなっています。 しかし、施設整備は終了していることから、借入金 の残高は、一般会計からの繰り入れに負いながらも 減少していくため、今後は経営の改善が見込まれま

くなっています。 また、施設の規模に対する利用状況については、

平成24年度に新たな施設の供用開始や不明水等に より処理水量が高まったことで、他団体との比較で は良好であり、施設の規模自体も適正と考えられま

なお、水洗化については上昇傾向にありますが、 更なる加入促進を進めることにより、引き続き向上 を図ることが必要です。

2. 老朽化の状況について

全体総括

には更新に充てる財源の確保が必要です。

施設の整備は終了しており、今後、新たな加入に

そのため、下水道整備地域内における単独処理浄 化槽や汲み取りから下水道への転換により、下水道

接続率を上げることで、下水道使用料収入の増加を

また、施設の維持管理費をおさえるために、保守や修繕を計画的に進めるとともに、不明水等の原因

施設利用率は、今後不明水を除く処理を図りま

を特定するための調査を行い、その対策を図りま

よる収益の増加と施設の維持管理の効率化による経 費の減少などにより、経営改善を図っていきます。

2. 老朽化の状況

1. 経営の健全性・効率性

0.90

0.80

0.70

0.60

0.50

0.40

0.30

当該値

平均値

80.00

70.00

60 00

50.00

40.00

30.00

20.00

10 00

0 00

当該値

平均値

H22

46.09

H23

47.46

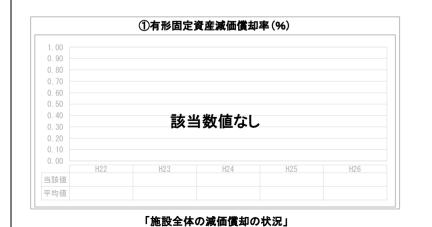
55. 20

[295. 10]

H26

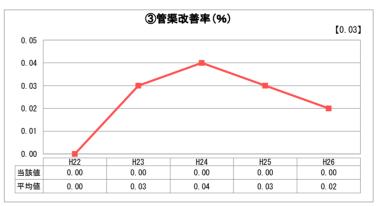
269.88

300. 52





「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

- 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
- ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。